

在学採用(給付)※貸与との併用含む

※下書き用紙に表示している内容は2021年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります。

2021年度 スカラネット入力下書き用紙 【給付奨学金（貸与併用申込み）用】



給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

スカラネット入力下書き用紙を記入する際に、特に注意していただきたい箇所について追記しています。

赤枠で囲んである部分 ……全員記入が必要な箇所

緑枠で囲んである部分 ……「貸与奨学金」の申込を希望する者のみ、記入が必要な箇所

オレンジ枠で囲んである部分 ……各設問の該当者のみ記入が必要な箇所

※スカラネット入力下書き用紙の原本は、大学に提出していただきます。提出後、返却しませんので、実際にスカラネットに入力する際、大学に提出した内容と同内容で入力できるよう、**必ず全ページコピーをとっておいてください。**

から「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

氏 名	学籍番号	学部・学科・分野
受 付 番 号		

入力の際に必要な項目です。
学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

以下の3点は、必ず手元に用意してください。

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザーIDとパスワード）
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）
- ・マイナンバー提出書



スカラネット用ホームページアドレス（URL）<https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は8：00～24：00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、
入力開始時間には注意してください。

識別番号（ユーザーIDとパスワード）は、必要書類を提出した方へ全学メールアドレス宛にメールでお知らせしますので、空欄にしておいてください。

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「給付奨学金」

ログイン
あなたの識別番号（ユーザーIDとパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。
(注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザーID パスワード

パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初にユーザーID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

「確認書兼同意書」の提出

※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」に読み替えてください。

あなた（あなたが未成年（20歳未満）の場合は、あなたと親権者または未成年後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- ・貸与申込条件等
- ・個人情報情報の取扱いに関する同意事項

※「個人情報情報の取扱いに関する同意事項」には、延滞するとあなたの個人情報個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。

☒ 提出しました。

☐ 提出していません。

下の「規程等を表示」ボタンを押して規程等（保証委託約款を含む）を確認し、了承する場合のみ、申込を行ってください。

※規程等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

規程等を表示

☐ 了承します

次へ

給付奨学金と貸与奨学金の両方を希望する人は「給付奨学金確認書」及び「確認書兼同意書」の両方、給付奨学金のみを希望する人は「給付奨学金確認書」の提出が必要です。「提出していません」を選択した場合はスカラネットの次の画面へ進むことができません。学校に「給付奨学金確認書」及び「確認書兼同意書」の両方、又は「給付奨学金確認書」を提出した後、再入力してください。

規程等の表示を行わないと、次の画面へ進むことができません。

「了承します」にチェックを入れないと、次の画面へ進むことができません。

規程等を表示し、「了承します」にチェックを入れたら「次へ」ボタンを押すことができるようになります。

奨学金学種（学校）の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

課程を選択してください。

大学の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）

- 現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）

- 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が地方税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込みことができます。

学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）

- 過去1年以内に生計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申し込みことができます。

学校で申込資格を確認してください。

(4) 第二種奨学金（短期留学）

- 国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留学する人は申込みことができます。

現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込の条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。

課程を選択すると、申込み奨学金を選択する画面が表示されます。
※この「下書き用紙」及び「給付奨学金案内」では、(1)を選択した場合について説明しています。

(1) 定期採用(1次又は2次)を選択してください

高等専門学校の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 予約採用

- 来年高等専門学校の4年生へ進級予定の人が給付奨学金に申込みことができます。

(2) 定期採用（1次又は2次）

- 現在在学している高等専門学校での奨学金を申込みことができます。

(3) 家計急変採用（給付奨学金のみ）

- 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が地方税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込みことができます。

学校で申込資格を確認してください。

(4) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）

- 過去1年以内に生計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申し込みことができます。

学校で申込資格を確認してください。

(5) 第二種奨学金（短期留学）

- 国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留学する人は申込みことができます。

現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込の条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。

申込み奨学金を選択する画面が表示されます。
※この「下書き用紙」及び「給付奨学金案内」では、(2)を選択した場合について説明しています。

大学（通信課程）の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（夏季スクーリング又は冬季スクーリング）

- 現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）

- 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が地方税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込みことができます。

学校で申込資格を確認してください。

課程を選択すると、申込み奨学金を選択する画面が表示されます。

パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。
入力がエラーになる場合は、入力し

マイナンバー提出書情報

「マイナンバー提出書」に印字されている申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」をクリックしてください。

注1) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

注2) 「マイナンバー提出書」についての注意事項

- ◆奨学金の申込みには、あなたとあなたの生計維持者（原則父母）のマイナンバー提出書が必要です。
- ◆「マイナンバー提出書」の提出先は学校ではありません。指定の送付先（マイナンバー提出書）に直接送付してください。
- ◆この申込入力完了後は、「マイナンバー提出書」に必要事項を記入し、必要に応じて、専用封筒を使って速やかに（この申込入力後1週間以内）送付（提出）してください。

申込ID

パスワード

※マイナンバー提出書の
見本を表示します。

見本を表示

配付書類の中の黄緑色封筒「『マイナンバー提出書』セット」の中にある、「マイナンバー提出書」に記載の申込IDとパスワードを記入してください。

マイナンバー提出書類の提出が遅れると採用が大幅に遅れたり、採用できなくなったりする場合があります。
スカラネット入力後1週間以内に郵送できるよう、必要な書類は事前に用意してください。（マイナンバーの提出方法・具体的な確認書類の詳細については、配布している「マイナンバー提出書」セットにて確認してください。）

2021年度の定期採用で使用するマイナンバー提出書に印字されている申込IDは「2021」で始まる10桁の英数字です。

1/8

Aー日本学生支援機構奨学金の案内

●給付奨学金

優れた学生等であって経済的理由により修学に困難があるもののうち、文部科学省令で定める基準及び方法に従い、特に優れた者であって経済的理由により極めて修学に困難があるものと認定された者に対して支給されます。

●第一種奨学金

無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。

●第二種奨学金

利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

3

通信課程の場合

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。(現在、給付奨学金を受けている場合、家計急変への変更を希望する方以外は「希望しません」を選択してください。)
- ☐希望します
☒希望しません
- ※給付奨学金の対象者は、大学等において別途手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けられます。
参考：支給月額一覧 (PDF)
2. 貸与奨学金 (月額：第一種奨学金 (無利子)、第二種奨学金 (有利子)) の新規申込みを希望しますか。
- ☐希望します
☒希望しません
- あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
- ☐ (1) 第一種奨学金のみ希望します。
☐ (2) 第二種奨学金のみ希望します。
☐ (3) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。

あなたが在籍している通信課程により奨学金の貸与を受けられない場合があります。詳しくは学校に確認してください。

「2. 貸与奨学金 (月額：第一種奨学金 (無利子)、第二種奨学金 (有利子)) を希望しますか。」で「希望します」を選択すると表示されます。「貸与奨学金案内」をよく確認し、希望するものを選択してください。

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示にしたがってください。

(4) 専修学校は、「あなたは上級学科に在学していますか。」という設問が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 次のページに掲載の「入学・卒業予定年月早見表」を参照し、卒業年次に合わせた実質学年を入力してください。編入の場合は編入した学年を入力してください。

必ず「(6) 昼(昼夜開講含む)」を選択

☐ 3 年次編入 → 3 学年

(6) 通学課程の学生は「昼 (昼夜開講含む)」又は「夜」を選択してください (高等専門学校の場合、この設問は表示されません)。

(7) ①～③から該当する1つを選択してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。

(例)
2019年4月にA短期大学に入学。2021年3月にA短期大学卒業後、2021年4月にB大学の3年次に編入学

・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月
：2019年4月(A短期大学の入学年月)

・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月
：2021年3月(A短期大学の卒業年月)

・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月
：2021年4月(B大学へ編入学した年月)

短期大学又は高等専門学校の認定専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する設問が表示されます。

・専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)へ入学した年月

・専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)に在籍していた最終年月

・専攻科に入学した年月

高等専門学校から編入学、転学又は専攻科に入学した場合、前に在学していた学校の入学年月には高等専門学校の4年次に進級した年月を入力してください。

短期大学の場合は「(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか」と表示されます。

高等専門学校の場合は、以下のとおり設問が変更になります。

(6) あなたの入学年月を記入してください。

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月 入学

(7) 現在通っている学校の4年次に進級した年月を記入してください。

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

D-あなたの在学情報 大学の場合

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。

(1) ×× 大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。(2) (半角英数字)

(3) あなたの在学している学部 (科) 名を選択してください。

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。

(4) ☒ いいえ ☐ 専攻科 ☐ 別科

(5) 学年を記入してください。

(5) (半角数字) [] 学年

(6) 昼夜課程を選択してください。

(6) ☒ 昼 (昼夜開講含む) ☐ 夜 ☐ 通年スクーリング ☐ 昼間スクーリング

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

☒ ①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)

→入学した年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

☒ ②現在通っている学校の2年次以上の学年 (課程) に、他の学校から編入学又は転学した。

(以下の3つの年月を全て記入してください。)

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

☒ ③現在通っている学校の2年次以上の学年 (課程) に、他の学校から編入学又は転学した (編入学又は転学の前在学していた学校 (大学、短大、高専、専門学校) が2つ以上ある)。

(以下の5つの年月を全て記入してください。)

【1 回目の編入学】

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

→2回目の学校へ編入学又は転学した年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

【2 回目の編入学】

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：

西暦 (半角数字 4 桁) [] 年 [] 月

短期大学及び高等専門学校の人は、以下のとおり設問が変更になります。この設問において、あなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の一覧表」で確認し、「はい」又は「いいえ」を選択してください。「いいえ」を選択した場合、給付奨学金の支給対象外です。

(4) あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。

☐ はい ☒ いいえ

上記で「はい」と答えた人にお聞きします。

あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。

☐ はい ☒ いいえ

認定専攻科の一覧表 (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構のページへリンク) (PDF)

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。

(8) 西暦(半角数字4桁) 年 月卒業 予定

(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。

(9) (半角数字) 年 月 日

<入学・卒業予定年月早見表>

2021年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2023/3
3年		2024/3
4年	2021/4	2025/3
5年		2026/3
6年		2027/3

2021年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2022/3
3年		2023/3
4年	2020/4	2024/3
5年		2025/3
6年		2026/3

2021年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2022/3
4年	2019/4	2023/3
5年		2024/3
6年		2025/3

※長期履修学生について

長期履修学生(「給付奨学金

間は通常課程の標準修業年

定年月を、修業年限は通常課

(2021年4月入学者の例)

通常課程の標準修業年限は

3年かけて履修し2024年3

⇒卒業予定年月は2023年3

月

なお、第二種奨学金の場合

は、修業年限の終期まで「貸

付」を延長することができ

ます。詳しくは、各キャン

パスの奨学金係に相談して

ください。

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(郵便番号) (半角数字) ー

住所検索

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学する場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとを離れて通学する場合は、学校までの通学距離・時間等に関わらず「自宅外通学」を選択し、下記設問にて⑤及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「施設等・里親等のもとを離れて生活している」旨を入力してください。

※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者(原則父母)と別居し、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

☐ 自宅通学(またはこれに準ずる) ☐ 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きします。

「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全てを選択してください。

いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択し直してください。

- ☐ ①実家(生計維持者いずれもの住所) から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
- ☐ ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ☐ ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
- ☐ ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ☐ ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

☐ 支障が生じる ☐ 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

(郵便番号) (半角数字) ー

住所検索

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(8)通常は正規の卒業予定年月を入力します。
例えば新入生で2年課程の人は2023年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください(左に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。
なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9)「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。
※現時点からあと何年通うかという意味で

★ 東山キャンパス 郵便番号:464-0814

住所 1(自動入力) : 愛知県名古屋市千種区不老町 / 住所 2 : 1

★ 鶴舞キャンパス 郵便番号:466-0065

住所 1(自動入力) : 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 / 住所 2 : 65

★ 大幸キャンパス 郵便番号:461-0047

住所 1(自動入力) : 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目 / 住所 2 : 1の20

※複数のキャンパスに通う場合は、最も通う頻度が多いキャンパスの住所を入力してください。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、2021年4月時点(秋以降に募集があり、奨学金を申し込む場合は2021年10月時点)で通学しているキャンパスの住所を選択してください。自動表示されない場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
※[9]ページの「住所の入力例」参照

2021年4月時点(秋以降に募集があり、奨学金を申し込む場合は2021年10月時点)での状況に基づき選択してください。
「自宅外通学」を選択する場合でも、当初は自宅通学の支給月額が振込まれ、自宅外月額の振込みは、「自宅外通学」である証明書類を提出し、不備なく審査終了した後にとなります。反映月に「自宅外通学」となった月からの差額がまとめて振込まれます。

「自宅外通学」選択者のみ記入してください。

自宅外通学を選択した場合は、採用後に、自宅外であることの証明書類(賃貸借契約書や入寮許可書のコピー等)の提出が必要です。

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
※[9]ページの「住所の入力例」参照

E-奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込からの支給の停止を希望しますか。

☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。

- ☐ 2021年4月1日時点で休学中であるため（2021年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続きが必要です）。
- ☐ 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため
- ☐ その他

(2) あなたは、2021年4月以降、以下の支援を受ける予定がありますか（ハローワークや役所からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください）。

※2021年4月以降、以下の国費による支援を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。

- ・教育訓練支援給付金【雇用保険法】
- ・訓練延長給付、技能習得手当（受講手当、通所手当）、寄宿手当【雇用保険法】
- ・職業訓練受講給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律】
- ・高等職業訓練促進給付金（ひとり親家庭の親を対象とする給付金）【母子及び父子並びに寡婦福祉法】
- ・職業転換給付金＜訓練手当＞【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

☐ 支援を受けておらず受ける予定もない☐ 支援を受けている

受給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 ～ 年 月

☐ 支援を受ける予定である

受給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 ～ 年 月

国費の一覧表（文部科学省ホームページヘルプ）（PDF）

※申告漏れの場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。

以下のような場合に「はい」を選択してください。

- ・海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある
- ・他団体の奨学金の利用に伴い、日本学生支援機構の奨学金の利用に制限があるため、支給を停止する必要がある

※届出による停止解除により、支給を再開することができます。

(3) として、家計急変が生じたことによる給付奨学金の申込みに関する設問が表示されますが、定期採用で申し込む場合は、最初から「いいえ」が選択されており、「はい」に変更することができません。「いいえ」のまま次に進んでください。

給付奨学金のみ希望する人は、入力の必要はありません。

入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。また、専修学校（専門課程）のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。プルダウンリストから希望する月

F-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1)

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】

区分 月額の 種類	大学				短期大学・専修学校（専門課程）							
	国・公立		私立		国・公立		私立					
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額 以外の月額				5万円				5万円				5万円
	3万円	4万円	3万円	4万円	3万円	4万円	3万円	4万円	3万円	4万円	3万円	4万円
	2万円	3万円	2万円	3万円	2万円	3万円	2万円	3万円	2万円	3万円	2万円	3万円

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしていることが必要です。それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は、「貸与奨学金案内」を参照してください。

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。

貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。

条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

2017年度以前入学者は、次のページの表から選択してください（最高月額の選択制限はありません）。

春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2021年4月となります（入学年度によりません）。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます（入学年度によりません）。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上表の最高月額以外の月額から選択してください。

2. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・(あなた(申込者)が未成年の場合) 連帯保証人には親権者(未成年後見人)を選任してください。
- ・(あなた(申込者)が成年の場合) 原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字(全角漢字)

カナ(全角カナ)

(b) その生年月日

(b) (和暦)(半角数字)

(c) あなたとの関係

(c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

- ・連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)(半角数字)

住所検索

住所1(自動入力)

住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号

(携帯)(半角数字)

(f) その勤務先

(f) (全角文字)

勤務先電話番号

(半角数字)

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

☐ 無職

(2) 保証人について入力してください。

- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字(全角漢字)

カナ(全角カナ)

(b) その生年月日

(b) (和暦)(半角数字)

(c) あなたとの続柄

(c)

(d) その住所

- ・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)(半角数字)

住所検索

住所1(自動入力)

住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号

(携帯)(半角数字)

(f) その勤務先

(f) (全角文字)

勤務先電話番号

(半角数字)

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

☐ 無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。

(g) ☐ はい ☐ いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日(B-誓約欄で入力した年月日)時点での年齢を元に判定を行います。

H-保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。

貸与奨学金を申請する方で、「H-保証制度」で、「人的保証」を選択した方のみ記入してください。

この箇所に入力した内容が返還誓約書に印字されますので、印鑑登録証明書に記載されている内容を正確に記入してください。

印字内容の訂正には、連帯保証人及び保証人の実印の押印が必要となります。

(例) おじ、おば

※以下の場合は、「その他(知人等)」と記入(選択)してください。

- ・離婚により親権を失った父母
- ・養子縁組により親権を失った本人の実父母
- ・配偶者の父母
- ・「(父(母))」や「その他(4親等以内)」を選択しないでください。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※9ページの「住所の入力例」参照

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

未成年の人は、11 ページ「4. 親権者(未成年後見人)について」も記入してください。

3. 本人以外の連絡先について ←
あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

(1) 漢字 (全角漢字) 姓 名

カナ (全角カナ)

(2) その生年月日 (2) (和暦) (半角数字) 年 月 日 生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

貸与奨学金を申請する方で、「H-保証制度」で、「機関保証」を選択した方のみ記入してください。

この箇所に入力した内容が返還誓約書に印字されますので、印鑑登録証明書に記載されている内容を正確に記入してください。

印字内容の訂正には、連絡先に指定した方の印鑑の押印が必要となります。

未成年の人は、下記「4.親権者（未成年後見人）について」も

4. 親権者（未成年後見人）について ←
あなたは誓約日（B-誓約書で入力した年月日）時点で成年に達していません。未成年の場合、親権者（未成年後見人）情報を入力してください。
※親権者とは原則父母です。

(1) 親権者（未成年後見人）1について

・連帯保証人と親権者（未成年後見人）1が同一である必要があります。
・親権者（未成年後見人）1には連帯保証人欄の入力内容が自動で登録されます。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角漢字) 姓 名

カナ (全角カナ)

(b) あなたとの関係 (b)

未成年後見人の場合は、その続柄

(c) その住所 (c) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(d) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

(2) 親権者2について入力してください。親権者が1名の場合は(3)に進んでください。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角漢字) 姓 名

カナ (全角カナ)

(b) あなたとの続柄 (b)

(c) その住所 (c) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(d) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

(3) 親権者（未成年後見人）は1名のみで間違いありませんか。
※親権者とは、原則父母です。

(3) ☐ はい ☐ いいえ

未成年と判定された場合表示されます。

あなたが成年にも関わらず4が表示される場合や

申請時点で未成年の方は、全員記入してください。

※親権者とは、民法に定められた親権者のことで、あなたが未成年の場合は、**原則父母**のことです。未成年後見人とは、親権者がいないとき、または親権を行う者が管理権を有しないときに、法定代理人となる人のことです。父母がいない場合は、「給付奨学金確認書」の親権者欄に署名した人の情報を入力してください。親権者についてわからないことがあれば在学先に確認してください。

この箇所に入力した内容が返還誓約書に印字されますので、印鑑登録証明書に記載されている内容を正確に記入してください。

印字内容の訂正には、親権者の印鑑の押印が必要となります。

「親権者2」が未入力の状態で「いいえ」を選択すると入力を進めることができません。親権者が2人いる場合は、親権者1、親権者2の情報を確認・入力し直してください。

18歳時点であてはまり「はい」を選択する人は、施設に入所していた、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
(証明書類の例)
施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（里親）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

申込者と生計が同一である全員が該当します（同居別居を問いません）。独立して別生計にある兄弟姉妹、祖父母などは含めません。また、「J-あなたの家族情報」の1.で「はい」を選択した場合は自動的に1名と表示されます。

9/9
J-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 ☐ はい ☐ いいえ
「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

☐ 児童養護施設入所者等 ☐ 児童自立支援施設入所者等
☐ 児童心理治療施設入所者等 ☐ 自立援助ホーム入所者等
☐ 里親に養育されている（いた）人 ☐ ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を選択してください。 (1) 人

申込手順等

用紙

採用後の手続き

3. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。

(1) 人

(2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

(a) あなたとの続柄

(a)

(b) その氏名

姓 名

(b) 漢字（全角漢字）

カナ（全角カナ）

(c) その住所

(c)（郵便番号）（半角数字）

住所検索

住所 1（自動入力）

住所 2（番地以降）（全角文字）

(d) その生年月日

(d)（和暦）（半角数字）

年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

（注1）「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

（注2）家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。

提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

☐ 準備できている

☐ これから準備する

☐ その他

(f) 所得（申込時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。

※金額は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円⇒100万円）

☐ 1. 給与所得

☐ 2. 商店・農業工業、個人経営

☐ 3. 失業手当

年額 万円

☐ 4. 生活保護費

※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合は□のみを入力してください。

☐ 5. 傷病手当金

年額 万円

☐ 6. 年金

年額 万円

☐ 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当

年額 万円

☐ 8. 祖父母等からの援助や養育費等

年額 万円

☐ 9. その他

年額 万円

☐ 10. 2019年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。

☐ 2019年1月1日以前から同じ勤務先（同じ業務形態で事業経営）

※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

☐ 2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業

就職・転職・退職・開業・廃業後の年収（見込み）はいくらですか

（給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です）。

・給与所得者

給与支払金額合計 年額 万円

・給与所得以外（商店・農業工業、個人経営）

所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額（見込み）を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額（見込み）を入力してください（マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です）。

※2019年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。

※生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」12ページを確認してください。

生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合2人とも）としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

生計維持者は最大2人です。

生計維持者①の入力は必須です。ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

離婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内」を確認し、該当するものを全て選択してください（年額の入力は1万円未満切り捨て）。※設問（f）は、給付奨学金のみ希望する人には表示されません。

(f)は、貸与奨学金を申請する方のみ、記入してください。入力方法は、「貸与奨学金案内」の36～37ページを参照してください。

(f)に年額を入力する場合、(d)ページ(3)の生計維持者②にも同じ収入を入力しないように注意してください（二重計上されてしまいます）。

「10」にチェックを入れることができるのは、2019年1月1日以前から無職かつ申込日時点で「3」～「9」全てに該当しない場合のみです。他に収入が存在する場合は、該当の箇所にチェックを入れ、「10」にはチェックを入れないでください（「1」～「9」のいずれかと「10」の両方にチェックを入れると先に進めません）。また、2019年1月2日以降に退職・廃業している場合は、「10」にチェックを入れず上の「1」又は「2」を選択したうえで下の「Q 2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を選択し、年額入力してください（複数の勤務先・事業形態のうち、1つでも退職・廃業している場合も同じです）。※秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2019年を2020年に読み替えてください。

生計維持者の勤務先が、2019年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択、2019年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。※秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2019年を2020年に読み替えてください。

生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱いは、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。

海外勤務等により2020年1月1日時点で日本国内に住民票（住民登録）がない場合が該当します（秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2021年1月1日に住民票（住民登録）がない場合となります）。

(g) 生計維持者①は2020年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。
☐ はい ☐ いいえ

(h) 生計維持者①は2020年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。
☐ はい ☐ いいえ

(3) 生計維持者② (父、母など)

(a) あなたとの続柄 (a)

(b) その氏名 (b) 漢字 (全角漢字) 姓 名
カナ (全角カナ)

(c) その住所 (c) (郵便番号) (半角数字) - 住所検索
住所 1 (自動入力)
住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) その生年月日 (d) (和暦) (半角数字) 年 月 日生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。
(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。
☐ 準備できている
☐ これから準備する
☐ その他

(f) 所得 (申込時点の状況) について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。
※金額は万円単位で入力してください。(例: 1,000,000円⇒100万円)

☐ 1. 給与所得
☐ 2. 商店・農業工業、個人経営
☐ 3. 失業手当 年額 万円
☐ 4. 生活保護費
※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合は④のみを入力してください。

☐ 5. 傷病手当金 年額 万円
☐ 6. 年金 年額 万円
☐ 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 年額 万円
☐ 8. 祖父母等からの援助や養育費等 年額 万円
☐ 9. その他 年額 万円
☐ 10. 2019年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
☐ 2019年1月1日以前から同じ勤務先 (同じ業務形態で事業経営)
※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。
☐ 2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業
就職・転職・退職・開業・廃業後の年収 (見込み) はいくらですか。
(給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です。)

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
・給与所得以外 (商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも 2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額 (見込み) を入力してください。
※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額 0 万円と入力してください。
※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額 (見込み) を入力してください (マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です)。
※2019年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額 (見込み) を入力してください。

(g) 生計維持者②は2020年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。
☐ はい ☐ いいえ

(h) 生計維持者②は2020年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。
☐ はい ☐ いいえ

秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2020年を2021年に読み替えてください。

父母のうち [2] ページ (2) 生計維持者①に入力した人ではない人を、必ず入力してください。定期採用の申込者は、ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。
※一人親の場合は (3) の入力は不要です。
※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人を [2] ページ (2) に入力してください。 (3) の入力は不要です。

離婚後に父母が再婚 (事実婚含む) している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。
その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内」を確認し、該当するものを全て選択してください (年額の入力は1万円未満切り捨て)。
※設問 (f) は、給付奨学金のみ希望する人には表示されません。

「1.」と「2.」の欄の年額欄は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示されません。
ただし、貸与奨学金を希望する人で生計維持者の勤務先が2019年1月2日以降に変更している場合、勤務先変更後の収入を入力する必要がありますので、下の設問 (「10.」の下) の「○ 2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を必ず選択してください。
※秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2019年を2020年に読み替えてください。

(f) は、貸与奨学金を申請する方のみ、記入してください。
記入方法は、「貸与奨学金案内」の 36~37 ページを参照してください。

「1.」と「2.」の欄の年額欄は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示されません。
また、2019年1月2日以降に退職・廃業している場合は、「10.」にチェックを入れます上の「1.」又は「2.」を選択したうえで下の「○ 2019年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を選択し、年額を入力してください (複数の勤務先・事業形態のうち、1つでも退職・廃業している場合も同じです)。
※秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2019年を2020年に読み替えてください。

生計維持者の勤務先が、2019年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択、2019年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。
※秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2019年を2020年に読み替えてください。

生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱い、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。

海外勤務等により2020年1月1日時点で日本国内に住民票 (住民登録) がいない場合が該当します (秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2021年1月1日に住民票 (住民登録) がいない場合となります)。

秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は、2020年を2021年に読み替えてください。

4. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の合計額は2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。

※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額（不動産は対象としない）。

☐はい ☐いいえ

5. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ記入してください。（1万円未満切り捨て）（半角数字）

あなた 万円
生計維持者① 万円
生計維持者② 万円
合計 万円

「いいえ」を選択した場合は家計基準を満たしていないため採用されません。なお、資産に関する証明書類の提出は不要です。

生計維持者①の続柄が「申込者本人」である場合は、当該欄の生計維持者①及び②は非活性となります。

J-あなたの家族情報 の3にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合にのみ表示されます。「離婚等」については、単なる不仲による別居

◆一人親家庭

6. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。

- ☐父又は母と死別した。
☐父母の離婚等により、父母いずれかとわたし（本人）は別生計である。
※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含まれます。
☐父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。
☐その他

以下いずれかに該当する場合、該当する欄を記入してください。

- ・ひとり親家庭
- ・父母以外の方が生計維持者
- ・学生本人が生計維持者

◆父母以外

7. 生計維持者の父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。（複数選択可）

- ☐両親（父母）と死別した。
☐両親（父母）が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。
☐わたし（本人）は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている（納税手続きにおいて、わたしの夫（妻）の扶養に入っている。）
☐その他

該当する選択肢が2つ以上あれば全て選択してください。

なお、ここでの「生計維持者が父母以外」（1名）となるケースは以下のような場合です。

- ・両親（父母）と死別し、おじ夫婦と生活している
※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方（1名）が「生計維持者」となります。
- ・両親（父母）が生死不明のため、未成年後見人（祖父）と生活している。

◆＜共通＞一人親家庭・父母以外

必要に応じて、上記の事実関係が確認できる証明書類の提出を後日求める場合があります。上記の申告に間違いありませんか。

☐はい
☐いいえ

事象	証明書類(例)
父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている場合【共通】	・課税証明書（寡婦（夫）控除の適用が分かるもの） ・児童扶養手当証書、受給証明書等
上記の書類を提出できない場合	
父母と死別	・戸籍謄本、抄本 ・住民票（死亡日記載あり）
父母が離婚	・戸籍謄本、抄本
父母が離婚調停中	・裁判所による係属証明書 ・弁護士による報告書
父又は母がDV被害	・自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」
父又は母が生死不明（行方不明）	・自治体や警察署等による「行方不明者届受理証明」
父又は母が意識不明、精神疾患	・主治医による「診断書」
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	・戸籍謄本、抄本 及び ・課税証明書（配偶者控除の適用が分かるもの）
その他の事由	・事実関係を確認できる書類（第三者（機関）の所見等）

J-あなたの家族情報 の3にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合、または父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。

生計維持者の考え方については、「給付奨学金案内」12ページ、及びJASSOホームページに掲載している「生計維持者について」「生計維持者に係るQ&A」を併せて確認してください。

JASSO 生計維持者

検索

◆申込者本人

8. 生計維持者はあなた自身（独立生計者）と入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。

- ☐両親（父母）と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。
☐父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない。
☐わたし（本人）は結婚しており、配偶者等を扶養している。
☐その他

申告いただいた内容について、後日確認させていただく場合があります。上記の申告に間違いありませんか。

☐はい
☐いいえ

J-あなたの家族情報 の3にて、あなた自身を生計維持者（独立生計者）としている場合にのみ表示されます。

あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等で生活しているという状況であったとしても、父母がいる場合は、原則父母が生計維持者となります。

採用後の手続き

[illegible]

10. に入力する家族は、12
 ページ3.(2)で入力した生
 計維持者①
 13 ページ3.(3)で入力した
 生計維持者②
 を除いた
 同一生計の
 家族です。

「K-特記情報」は、貸与奨学金を申請する方のみ記入してください。

一律「54」万円と記入

2.～7で申告する項目がある方は、各項目に応じた証明書類の提出が必要です。必要な証明書類については、「貸与奨学金案内」39ページおよび「日本学生支援機構 給付奨学金 申請書類チェックリスト」の裏面を確認してください。

K-特記情報

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。 1. 万円
2. あなたの家族は母子または父子家庭ですか。 2. ☐ はい ☐ いいえ
3. 家族の中に障害のある人（常に就床を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。 3. ☐ はい ☐ いいえ
- 「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。 人
4. 主に生計を維持する人が単身赴任等で別居していますか。 4. ☐ はい ☐ いいえ
- 「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。 万円
5. あなたの家族に6ヶ月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。 5. ☐ はい ☐ いいえ
- 「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。 万円
6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。 6. ☐ はい ☐ いいえ
- 「はい」と答えた人は、支出の増加または 支出の増加がある ☐ はい ☐ いいえ
収入の減少があるが選択してください。 収入の減少がある ☐ はい ☐ いいえ
- 「はい」と答えた人で、長期（2年以上）にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金額を記入してください。 支出の増加 万円
収入の減少 万円
7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

一律「54」万円と記入

については、「貸与奨学金金
ージおよび「日本学生
給付奨学金 申請書類類
ト」の裏面を確認してくだ

4. 上限は71万円です(合計金額から1万円未満切り上げ)。単身赴任先の住居・光熱・水道・家具・家事用品の領収書のコピーを学校に提出してください。

5. 該当者がいる場合は、医療費等の領収書のコピーを学校に提出してください（合計金額から1万円未満切り上げ）。

6. 被害を受けたことを証明する書類のほか、支出の増加額、または収入の減少額の算出の基となる書類を学校に提出してください(合計金額から1万円未満切り上げ)。

7. プルダウンリストから該当の災害を選択してください。

家庭事情情報は、全員入力する必要があります。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

L-家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください
(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください)。

注) 主に生計を維持する人が無職(失職)の場合には、その無職(失職)となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

(20×10)

[illegible]

注意！口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

奨学金を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必須であり、登録には、振込口座情報が必要です。通帳などのコピーを本紙に貼付しておくことをお勧めします。

チェック 奨学金を受け取れる口座は、下記6点の確認が必要です！	
①□	あなた本人の預・貯金口座ですか（あなた本人以外の口座は使用できません）。
②□	銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座ですか。
③□	誓約欄のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じですか。
④□	金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいですか。※1
⑤□	この通帳は、1年以内に記帳できましたか。（＝休眠口座になっていない）
⑥□	信託銀行、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等は、振込みできません。※2

※1 3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。

※2 一部の信用組合は、振込みできません。

貼り

「M-奨学金振込口座情報」は、全員記入必須です。

などの口座名義人及び口座情報が記載されている部分のコピー（A4サイズ）

□口座名義人欄の入力について（B-誓約欄で入力したあなた本人のカナ氏名と同一である必要があります）※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。※ミドルネームがある人は、名の欄に『ミドルネーム』と『名前』をスペースなしで入力してください。

「記号」と「番号」の間に数字がある場合は、その数字は入力しないでください。※番号が8桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

8/8
M-奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 1. ○銀行等 ○ゆうちょ銀行

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読み先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読み先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3 2. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

3. 口座名義人を入力してください。 (口座名義人は本人に限ります)

4 姓 名

3. 口座名義人（全角カナ）

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

2. 貯金通帳等で確認後、口座の記号・番号を入力してください。

1 記号 番号

2. 記号・番号

確認のため、再度口座の記号・番号を入力してください。 確認用

3. 口座名義人を入力してください。 (口座名義人は本人に限ります)

3 姓 名

3. 口座名義人（全角カナ）

4 普通預金 銀行等

キョウ知ウ

お振付の通帳残高は次のとおりです。

金額	変更後金額	残高	口座番号
円	円	***	*****

株式会社××銀行 1

口座店 ××支店 2

TEL. ×××(×××)××××

ご振込先へのご紹介先 ××××××

お振込入金 ×××(×××)××××

印読校中台帳付たつを随時読取要求願

ゆうちょ銀行

1 記号 2 番号

*** *****

おなまえ キョウ知ウ様 3

株式会社ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900)

通帳作成地 東京都千代田区墨田1-2-2 両国駅前ゆうちょ銀行

この番号では振込みできません

この口座を他金融機関からの振込みの受取口座として利用される際は次の内容をご指定ください

【店名】一九八(読みイヂキョウハチ)

【店番】198 【預金種目】普通預金 【口座番号】0123456

記入内容を点検しましょう！

- 氏名は本名（住民票に記載された氏名）で記入しましたか？
- 住所・電話番号をもれなく正確に記入しましたか？
- 収入・所得金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか？
- 家族人数は、別生計の家族を除いた人数になっていますか？
- 口座番号を正確に記入しましたか？（誤りがあると振込みできません）



重要

入力完了後に表示される受付番号を
下書き用紙の①ページ
に記入してください。